

スリーエム(MMM)

【セクター】 資本財・サービス

信買

【市場】 NYSE

【企業概要】

グローバルに展開する産業部材の会社で、オフィス、ヘルスケア、エレクトロニクス、自動車、交通インフラ、通信、建設など幅広い産業分野で5万5,000種に及ぶ製品を供給します。部門別売上は、セーフティ&インダストリアル34%、トランスポーテーション&エレクトロニクス26%、ヘルスケア25%、コンシューマー15%（2023年12月期）、地域別売上は、米州54%、アジア太平洋29%、欧州・中東・アフリカ17%（2022年12月期）です。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

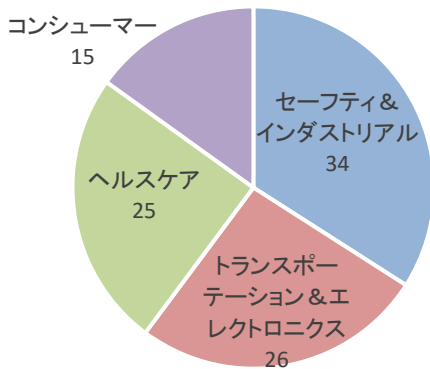
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
22.12期	34,229	5,995	10.56	5.96	26.8	38.8	31.8
23.12期	32,681	5,104	9.16	5.98	8.8	-71.4	9.6
24.12期（予）	32,435	5,424	9.75	6.19	14.1	75.9	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

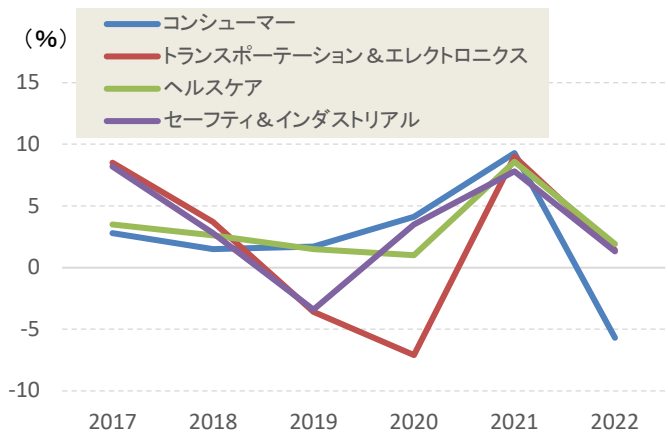
【主要指標】

部門別売上構成比（2023年、%）



（出所）会社資料よりSBI証券が作成

部門別オーガニック売上成長（前年比）



（出所）会社資料よりSBI証券が作成

【会社の見方】

粘着剤、フィルム、セラミックス、研磨剤、不織布などに関するコア技術をあらゆる産業のニーズに適用して革新的な部材や製品を供給していくというのが同社のユニークなビジネスモデルです。例えば、粘着剤の技術を、文具のポストイットから、病院で使われるチューブ固定テープ、電子部品のパッケージ、建材の接着に活用していくといった具合です。アイデアが枯渇するまで伸びることができるビジネスモデルと言えるでしょう。ただし、2022年までの5年間のオーガニック売上成長率は3%を下回り、同業他社を上回る研究開発や投資の成果としては物足りません。成長を維持するには事業ポートフォリオの入れ替えが必要となっている可能性があります。

【見通し・注目点】

10-12月期決算は売上が前年同期比0.8%減で予想並み、調整後EPSが同11%増で予想を5%上回りました。事業買収・売却などの影響を除くオーガニック売上成長は同1.4%減でした。ガイダンスは2024年12月期のオーガニック売上成長を前年比0~2%増、調整後EPSを9.35~9.75ドルとし、市場では前者を同2.7%増と見込んでいたため、失望を招いて株価が下落しました。ヘルスケア部門の分離については、2024年上期に完了する予定に変わりはないとの見方を示しました。

本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。